山都町立矢部小学校　学校だより

自分らしく～Be Unique～

矢部小HP　令和６年１１月１８日（月）　第３０号
２次元コード←カラー閲覧できます　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

矢部小のステキと子どもたちの成長

正門から玄関までの落ち葉が先週からすごいことになっています。毎朝早くから学校に来ている子たち（先発隊）が掃き掃除を始めました。玄関開錠後は環境委員も加わって作業しています。ステキ！

さらに先発隊は、直立でお辞儀してあいさつするようになりました。こちらから挨拶しないと挨拶しなかった春の実態からすると、大きな成長です。

１５日の学習発表会でも、発表を観ている子どもたちの様子を観察しているとさまざまな成長を発見できました。

上写真は６年生数名が低学年の歌に合わせて頭を揺らし、楽しく聴いていた場面です。

低学年の子たちは各学年の発表者が礼をすると必ず返礼をしていました。聴く態度に大きな成長が見えました

読書月間・・・子どもたちの読書意識は高まった？

金曜の午前中に図書室に行き、町図書司書のＮ先生に図書月間の様子について話を聞いてみました。「少しは読書量は増えたかなあ」「景品をもらったらその後はパッタリ来なくなった子もいました」と話されました。その後の会話から・・。

校長「子どもたちの文章を書く力をつけたい！と思っています」

Ｎ先生「『学ぶはマネぶ』と言いますからね。本の文章をマネることから始めるといいと思います」

校長「私も、『(教師が) 添削指導をするより、(子どもに) 名文を暗記させた方が上達が早い』というのを聞いたことがあります」

自身のことを考えても、読書をきっかけに知った漢字や熟語の読み・書きは結構多いです。小説を読んでいて「“あんばい”って“塩梅”と書くのか！」と知り、その場で頭の中にインプットします。また好きな本の作者の文章表現をマネながら自分の表現力を高めてきました。

矢部抄

「radikoを聴きながら本通信を執筆している。「中川家ザ・ラジオショー」では、自宅で観る時のテレビのボリュームの話題になり、弟の礼二さんは１３～１４に対して、お兄さんの剛さんは８～９と言っていた。ちなみに私の場合２６～２８。テレビの性能の違いもあるだろうから単純に比較はできぬ▼愛車のオイル交換のため昼前に販売店へ行った。２年近く交換していなかったのはヤバかった！オイル交換は購入時のコミコミ料金で対応▼交流校である長崎県・銭座小学校の人権担当　先生が熊本に来られるそうだ。今月末に熊本県内で全国人権教育研究大会が開催、それに参加される▼本校からも職員数名が本大会に参加する。この機会を利用して本校　先生と「３学期の交流会」の打ち合わせを行う予定だ。せっかく熊本に来られるので、「ご挨拶」を兼ね、私も合流しようかなと思う